

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	人工 RNP ナノシステムを活用した細胞プログラミング技術の創出
研究代表者	齊藤 博英（京都大学・iPS 細胞研究所・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>応募者の RNA の合成生物学におけるこれまでの業績は、新規の人工ナノ構造体や RNA スイッチなど独創的なアイデアにあふれ、着実な研究の展開をみせており、世界的にも高い評価を受けている。</p> <p>本研究は、人工 RNP を活用して標的細胞のシグナル伝達や分子局在を制御する技術を開発し、再生医療やがん治療薬への展開を見据えた意欲的内容である。一部、研究経費の妥当性に懸念する意見もあったが、当該分野での日本の若手リーダーとして十分に活躍が期待できることから、基盤研究（S）として推進することが妥当と判断した。</p>